

コロナ禍における ピアサポート

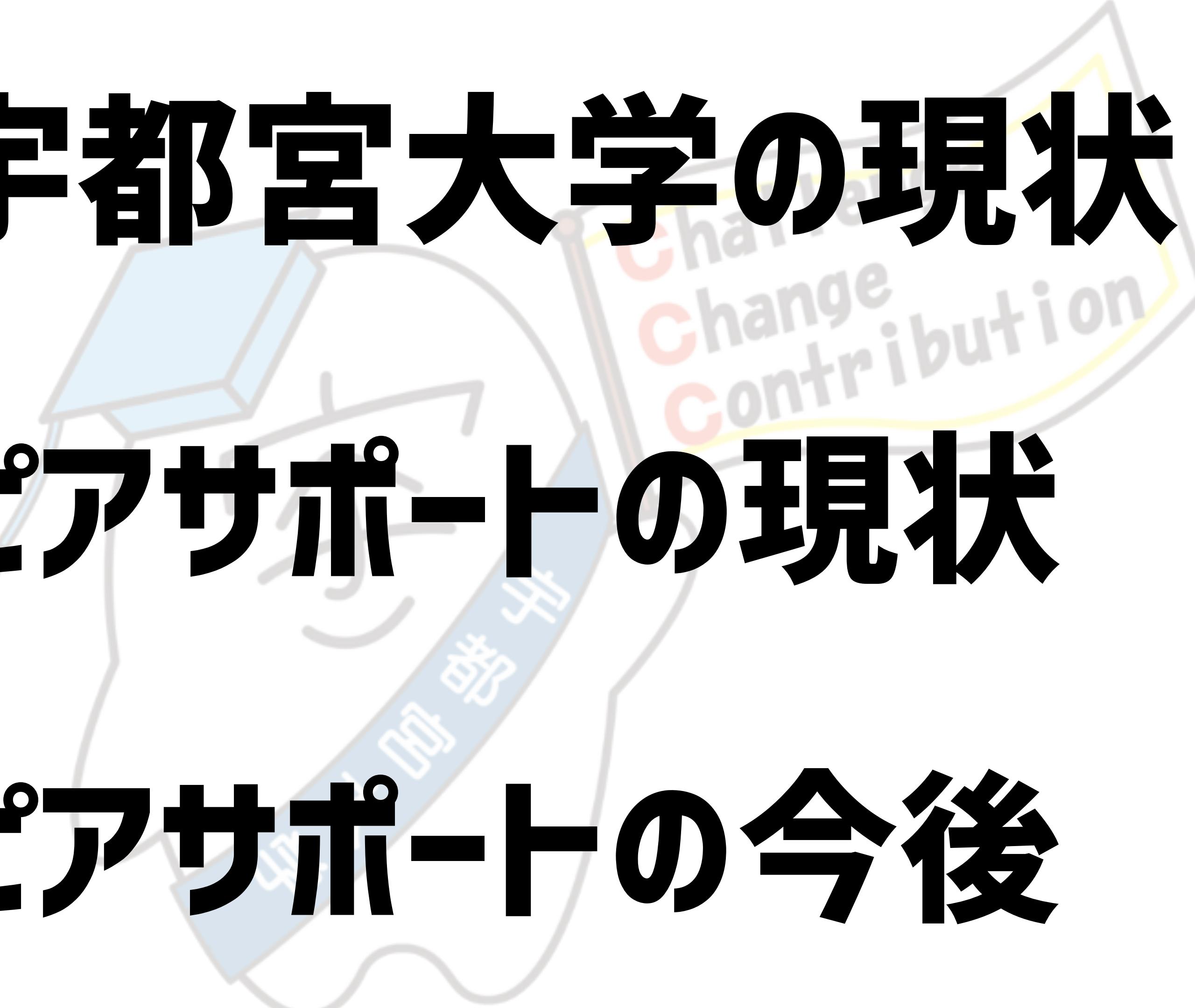
宇都宮大学の取組事例

令和2年度学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー

令和2年12月11日(金) 16:20-16:40
オンライン開催

石井 和也

宇都宮大学 大学教育推進機構 基盤教育センター
(兼)教学マネジメント支援室
ishii@cc.utsunomiya-u.ac.jp



1

宇都宮大学の現状

2

ピアサポートの現状

3

ピアサポートの今後

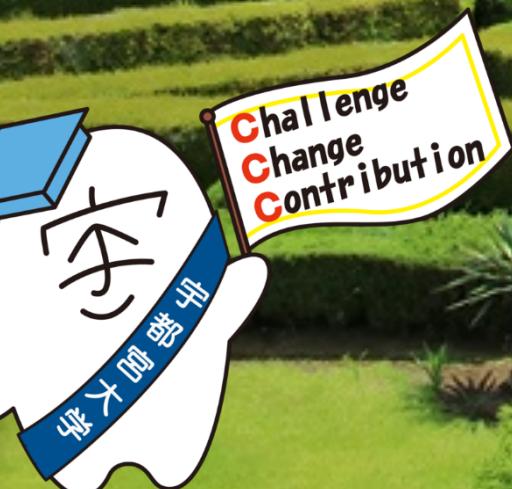
1

宇都宮大学の現状



宇都宮大学の概要

学部学生
1年生
教職員
4,037人
948人
335人
207人

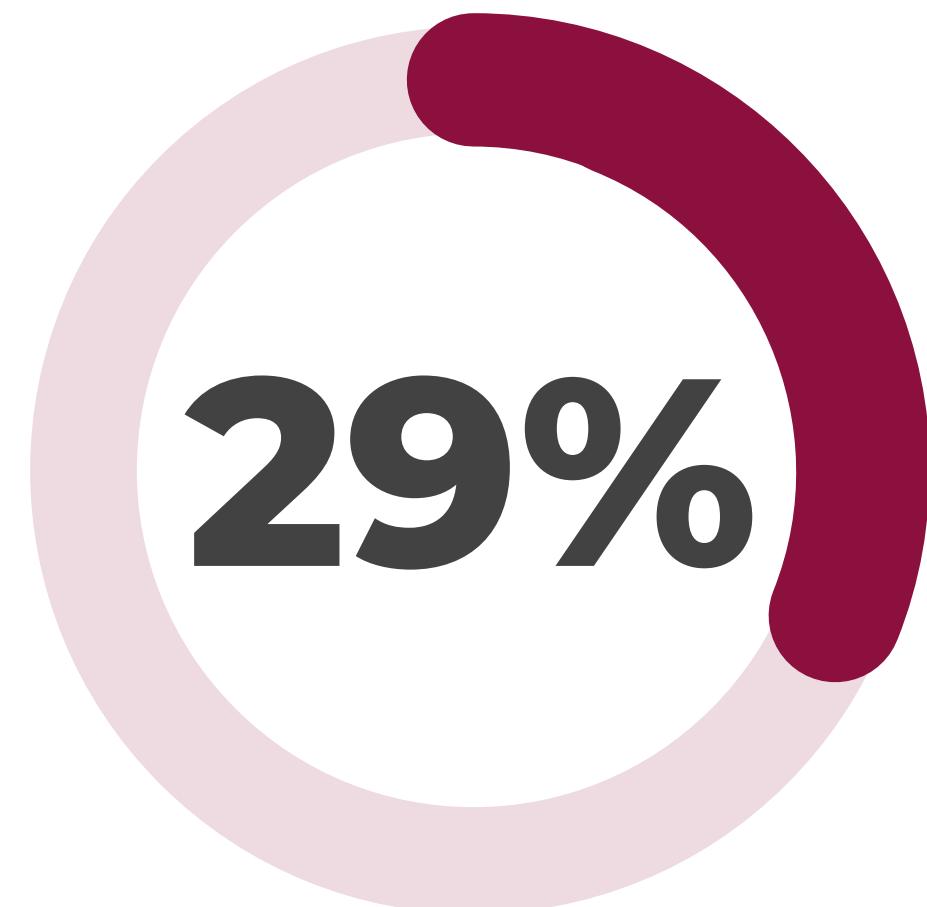


宇大スピリット 3C精神

宇都宮大学では、宇大スピリット＝3C精神を大切にしています。
これは、明るい未来を開拓するために
「Challenge」＝主体的に挑戦し、
「Change」＝時代の変化に対応して自らを変え、さらに
「Contribution」＝広く社会に貢献する
という意味を込めた言葉です。これらを大学の空気として醸成し、
学生と教職員が一体となって未来を開拓していく強い決意を込めています。

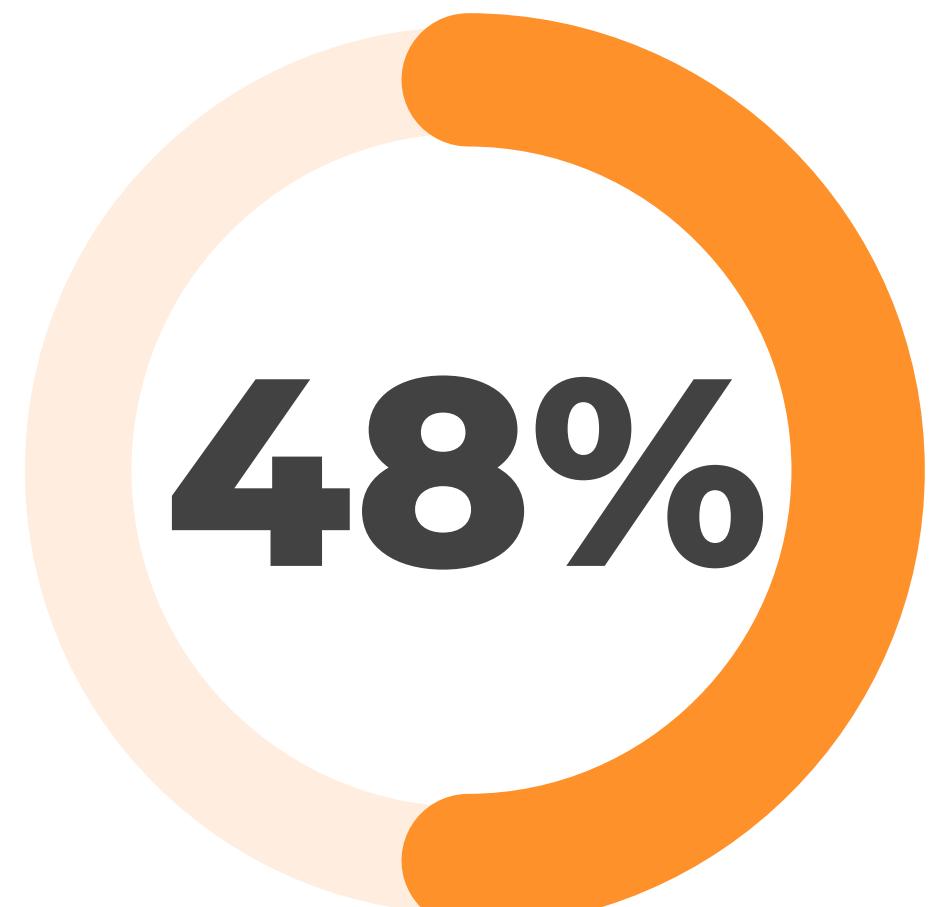
実家以外に滞在している学部生

1年生



回答率81%

2年生



回答率80%

3年生



回答率77%

4年生以上



回答率43%

出典：宇都宮大学大学教育推進機構教学マネジメント支援室が実施した「メディア講義に関する学生アンケート」
(C-Learning上で2020年7月14日～19日に実施。全体の回答率は69.1%)

令和2年度の授業実施状況

5/27より
Wi-Fi環境が不十分な学生に学内PC端末の使用を許可
(登録制)

7/6より
対面授業が不可欠な授業に限り対面授業を再開

10/1より
後期授業がメディア講義にてスタート
10/1-28は特設期間として対面授業実施可

10/15に
11月以降も一部の授業について対面で行うことを周知

ピアサポート制度 スタート

一部の 課外活動の再開

4

5

6

7

8

9

10

11

メディア講義のみ

メディア講義 + 対面授業

4/20より
メディア講義開始

6/16に
7~9月にかけて実験実習系の授業のみ対面で実施する予定であることを周知

8/7に
「学長から学生のみなさんへのお手紙」を公開

12/25まで
一部の授業で対面授業を実施(対面授業に出席できない学生はオンライン受講可)

2

ピアサポートの現状



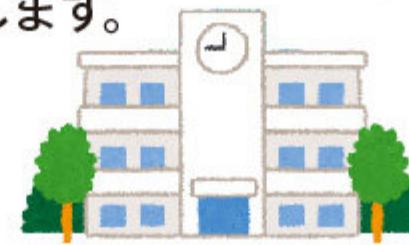
ピアサポートの活用背景

新型コロナウイルス感染症の
拡大に伴う緊急支援策 総額約2億円

緊急学生支援 パッケージ

緊急奨学金（給付型）

生活支援を要する状態となった学生に支給します。



第一弾

▼日本人学生向け

10万円を300人に給付 5月支給済

- ・「飯村チャレンジ緊急奨学金」（寄附者：飯村 慎一氏）
- ・「飯塚緊急奨学金」（寄附者：飯塚 真玄氏）
- ・「宇都宮大学3C基金」



▼留学生向け

5万円を100人に給付 6月支給済

- ・「増山緊急奨学金」（寄附者：増山 律子氏）



第二弾

36万円を30人に給付 7,8月支給済

- ・「飯村チャレンジ緊急奨学金」増枠（寄附者：飯村 慎一氏）

第三弾

緊急奨学金（給付型）追加募集 計画中

一時貸与制度の創設（無利子）

生活や修学が困難となっている学生に、無利子貸与します。

上限 25万円を200人に貸与 継続中

授業料免除 前期9人追加 実施済

授業料納付期限の延長



[前期] 5月末日 ⇒ [変更後] 7月末日 実施済

[後期] 11月末日 ⇒ [変更後] 1月末日 実施予定

働く場の提供を通じた経済支援 継続中

大学内で学生アルバイトを雇用します。（TA、RA、SA）

ノートパソコン75台を貸与



（寄附者：株式会社TKC）

学生ピアサポート制度 継続中



2年生以上のサポーター390人が新入生を支援します。



◎その他、国の給付金や高等教育の修学支援新制度、自治体・各種団体等による奨学金などを通じて、誰ひとり取り残さず学生生活の継続を支援します。

ピアサポートの活用背景 ラーニング・コモンズ 学生スタッフの活躍

The image is a promotional graphic for a color theory lecture. It features a large, stylized title '色彩講座' (Color Theory Lecture) in white with a black outline, centered on a teal background. To the left, a speech bubble contains the text '理論で学ぶ' (Learn through theory). Above the title, a yellow box contains the text '色彩キセンス!?' (Color Kisen's!?). The background is light blue with various geometric shapes and lines in shades of teal, blue, and yellow.

This promotional image features a pink checkered border at the top and bottom. The top section contains text in Japanese: "ラーニング・コモンズ 学生スタッフ 主催" (Organized by Learning Commons Staff), "新入生の不安を解消!" (Resolve freshmen's不安), and "一人暮らし不安…" (Anxiety about living alone...). The bottom section features a large octagonal frame containing the text "ラーニング・コモンズ 新入生歓迎ウィーク" (Learning Commons Freshman Welcome Week). Below this frame is a decorative pattern of pink cherry blossoms and green leaves. A red speech bubble in the bottom right corner displays the dates "4/6(月) ~ 5/1(金)" (Monday, April 6 ~ Friday, May 1).

オンラインを通じたピア・サポート活動の蓄積

プレゼン資料を美しく。

ス平ル

3月27日(金) 14:00~14:30

宇都宮大学 峰キャンパス

ラーニング・コモンズ1

各種SNSで新入生のお悩みを文字・写真・言葉で解消！

ラーニング・コモンズ1

コモンズから
同時配信！！

Instagram

Zoom

内容

資料・プレゼンスライド・
ファッショントにも生かせる
色彩を理論的に学べる！

@Udai_L_common

ピアサポートの活用背景 ラーニング・コモンズ 学生スタッフの活躍



学生スタッフによるオンライン相談の実施
Zoom, Twitter, Facebook

ラーニング・コモンズ学生スタッフ企画

zoom 相談所



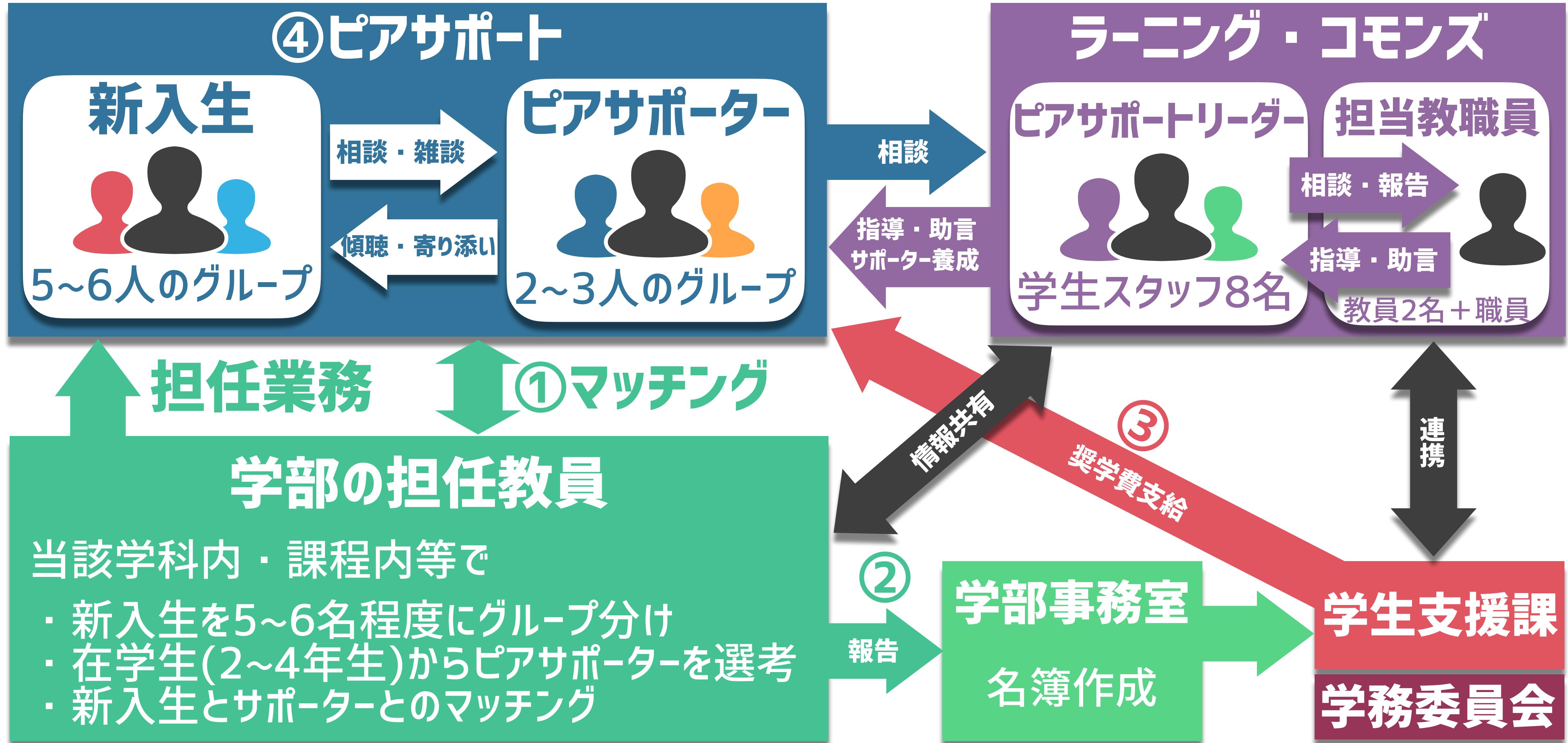
新入生からの
4月から5月の連休までに58件の相談

学生スタッフ全9名のうち、主に有志の4名が活動(有償)。

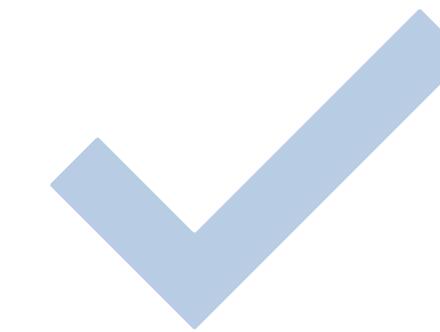
※例年対面で実施している「新入生相談会」には、
4月だけでのべ400~600名の新入生が参加。

ピアサポート制度の実施手順

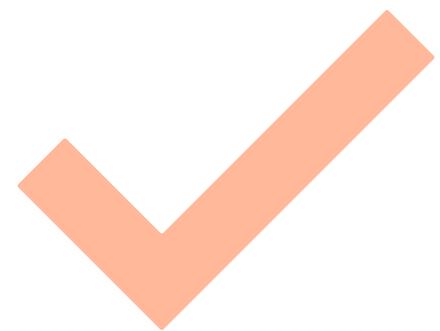
当初の計画は
前期のみ



ピアサポーターの役割



新入生に寄り添い解決策を模索



学生同士のつながりをつくり、
キャンパスライフ再開を支援



新入生が直面している問題の解決策を
教えるのではない。一緒に解決策を考える。



コミュニケーションの内容は問わない。
なんらかの話題を通じてコミュニケーションを行ふこと自体を重視する。

ピアサポーティーダーの役割

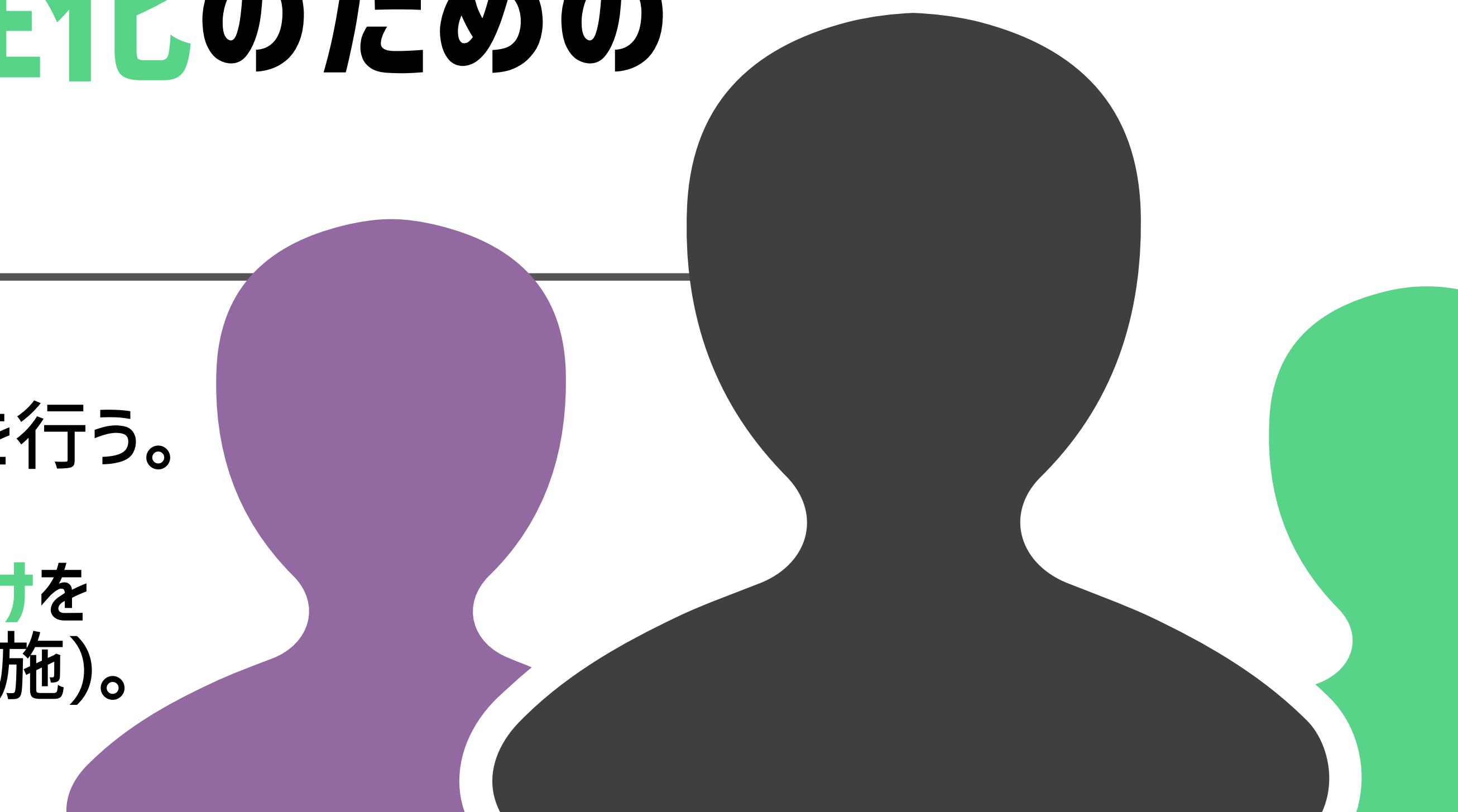
- ✓ ピアサポートの経験を活かしピアソーターに助言を行う
- ✓ コミュニケーション活性化のための話題提供を行う



ピアソーターへの研修は行わない。
実際の取組の中で最低限の助言を行う。



コミュニケーションのきっかけとなる仕掛けを
提供する(雑談会のようなイベントを実施)。



担当教職員の連携

理事(学務・情報担当)1名
基盤教育センター長 1名

基盤教育センター教員 1名
男女共同参画推進室教員 1名
事務補佐員 基盤教育センター^{男女共同参画推進室} 2名

奨学費支給に係る業務を行う

学生支援課職員

学部ごとの現状を把握・報告

学務委員会委員

学生が活動するオンライン上の場
(Microsoft Teams)を作成

ピアサポートリーダー8名

学生の立場からオンライン上の
場づくりに協力

ピアサポーターに支給する奨学費

6月～9月(前期中)の活動に対し、
ピアサポーター1人あたり2万円を支給

- ✓ ピアサポートリーダーも1人あたり2万円支給
- ✓ 後期以降も継続

オンラインでのピアサポート

Microsoft Teams
を活用(予備: C-Learning)

	教育	国際	地域デザイン科			工	農					合計
			コミュ	建築	社基		応生	森林	農環	農経	生資	
ピアサポートー (人)	94	52	17	30	24	72	19	18	13	20	25	384
1年生 (人)	181	97	51	50	41	321	36	35	32	37	66	947
計 (人)	275	149	68	80	65	393	55	53	45	57	91	1,331
グループ数	36	20	8	10	8	32	7	6	6	7	11	151

オンラインでのピアサポート

Microsoft Teams
を活用(予備: C-Learning)

チャット(グループごと)



ピアソーター

チャンネル(オープン)

学部ごとの交流板

質問・要望・意見
相談

ピアサポートリーダーによる
雑談会(通話機能)

お



石井 和也 07/10 11:29

学生同士がつながりをつくる場所「おはなし処オンライン」へようこそ！

C-Learningの「おはなし処オンライン（予備）」で告知させて頂いていたとおり、こちらがメインの「おはなし処オンライン」となります。

※Teamsからの通知は各自で設定できますので、必要に応じて通知のon/offを切り替えて下さい。

なお、こちらへの登録作業の都合上、1年生全員を機械的に登録しています。

もし、こちらでコミュニケーションを取ることは必要でないとお考えの1年生の方がいましたら、「チームから脱退」を各自行って下さい。

以下に、C-Learning上に記したメッセージを再掲します。

ここは、新入生の皆さんと、2年生以上の学生（ピアソポーター）とが互いにコミュニケーションをとり、幅広いつながりをつくりていくための場所です。

新入生の皆さんには、学生生活上の何気ない質問や、ちょっとした相談・雑談など、様々なコミュニケーションを先輩学生に投げかけてみて下さい。

きっと親切な先輩たちが皆さんの話し相手になってくれるはずです。

簡易表示

← 返信



07/10 12:39

【メンバー追加作業についてのご連絡】

「おはなし処オンライン」メンバーの皆さんこんにちは！

新しい投稿

お

おはなし処オンライン

…

一般

■質問・要望・意見チャンネル

■相談用チャンネル

7件の非表示のチャンネル



07/28 12:05 編集済み

チャンネルについて

こんにちは
ピアサポートリーダー 教育学部 3年
です

このチャンネルでは 新入生の皆様からの相談を受け付け、それに対してピアサポートがお答えいたします！

新しい投稿という形で投稿していただくと分かりやすいです

【記入例】 以下をコピペして使ってください

○○学部 ○○学科 ○年

〈相談テーマ〉

○○について

〈相談内容〉

～で困っています。どうすればいいでしょうか。

〈回答して欲しい方〉

○○学部の方(教員 ピアサポートリーダー など)

[簡易表示](#)

← [返信](#)

2020年8月27日



08/27 11:48

こんにちは。

[新しい投稿](#)

3

ピアサポートの今後



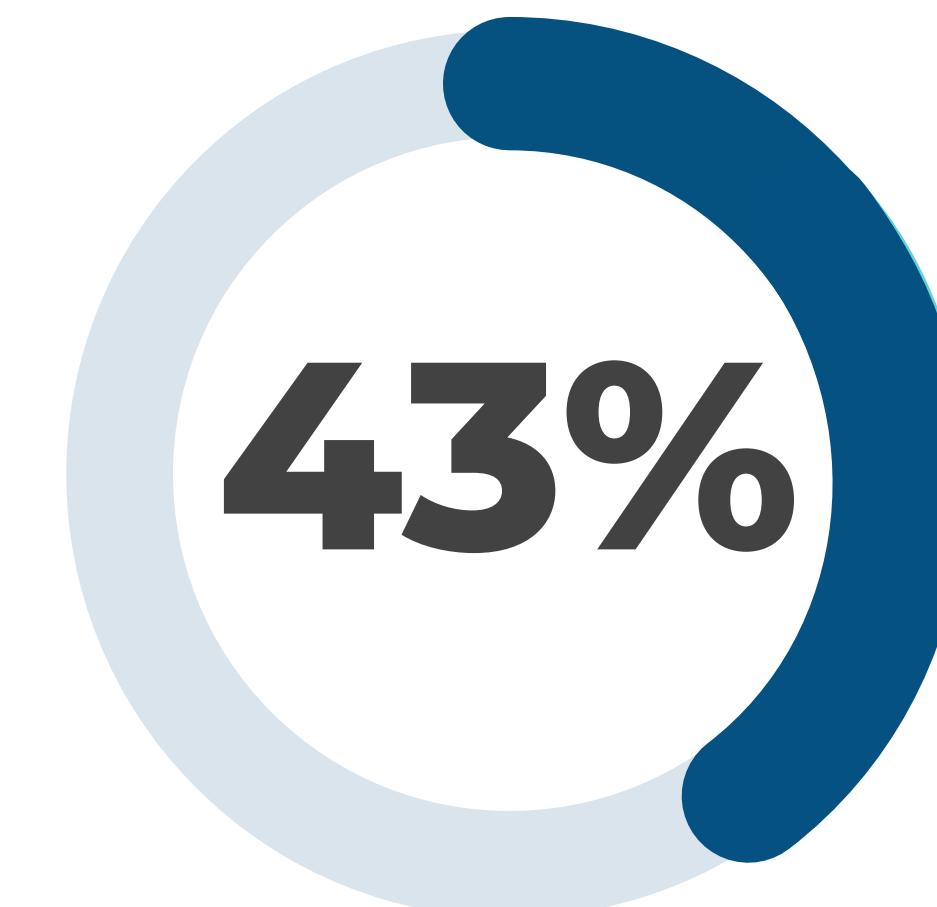
ピアサポート活動に期待したい効果

学生同士の
コミュニケーション



メディア講義の期間中、学生同士で満足のいくコミュニケーションをとることができましたか。

授業内容についての
学生同士の質問・相談



授業について他の受講生に質問や相談をすることができましたか。

出典：宇都宮大学大学教育推進機構教学マネジメント支援室が実施した「メディア講義に関する学生アンケート」
(C-Learning上で2020年7月14日～19日に実施。全体の回答率は69.1%)

Emergency Remote Teaching

1. Activated in response to a crisis or something beyond human control
2. Meant to be temporary
3. May lack resources
4. May not have full faculty support
5. Students may not have a choice

How To Make ERT Work

1. Communicate Frequently
2. Prioritize Needs
3. Be Flexible
4. Establish Routines
5. Collaborate
6. Engage The School's Community
7. Develop Contingency Plans
8. Practice And Promote Well-Being
9. Learn

Emergency Remote Teaching ≠ Online Learning

Evaluating ERT

1. Define “success” from every shareholder’s point of view (faculty and students, for example)
2. How much extra time was required of teachers?
3. How were learners able to access material and courses?
4. If someone didn’t have internet access, are there other solutions for learning?
5. How is data and privacy secured during sessions?

Evaluating ERT

1. Given the need to shift to remote instruction, what internal and external resources were necessary in supporting this transition? What aspects of the context (institutional, social, governmental) affected the feasibility and effectiveness of the transition?
2. How did the university interactions with students, families, personnel, and local and government stakeholders impact perceived responsiveness to the shift to ERT?
3. Was the technology infrastructure sufficient to handle the needs of ERT?
4. Did the campus support staff have sufficient capacity to handle the needs of ERT?
5. Was our ongoing faculty professional development sufficient to enable ERT? How can we enhance opportunities for immediate and flexible learning demands related to alternative approaches to instruction and learning?
6. Where did faculty, students, support personnel, and administrators struggle the most with ERT? How can we adapt our processes to respond to such operational challenges in the future?
7. What were the programmatic outcomes of the ERT initiative (i.e., course completion rates, aggregated grade analyses, etc.)? How can challenges related to these outcomes be addressed in support of the students and faculty impacted by these issues?
8. How can feedback from learners, faculty, and campus support teams inform ERT needs in the future?

ピアサポート制度の今後の課題



- 1 **授業**
授業評価アンケート
FD
授業実践例のデータベース
- 2 **授業外学修**
教員によるサポート
専門スタッフによるサポート
ピアサポート
学び方のTips集
(リサーチ方法やレポートの書き方など
についてのオンライン上の手引き)
- 3 **正課外活動**
専門スタッフによるサポート
ピアサポート
学外者との連携

ご清聴ありがとうございました。

